



2025年7月9日

各 位

会 社 名 株式会社ディー・エル・イー  
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO・CCO 小野 亮  
(コード番号：3686 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 C F O 福 岡 和 貴  
(TEL. 03-3221-3990)

### (開示事項の経過) 新たな事業の開始に関するお知らせ

当社は2025年7月1日付「新たな事業の開始に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、今後、AI事業を当社ビジネスの中核とし、事業展開を行ってまいります。

そして、「新たな事業の開始に関するお知らせ 2. 新たな事業の概要 (1) 新たな事業の概要」で具体的なAI事業の一つと記載しておりますAIスタジオの詳細が決定し、2025年7月9日開催の取締役会にて、決議いたしましたのでお伝え致します。

### 記

#### 1. AIスタジオ開設の趣旨及び概要

当社は、今後、「AI」を事業の中核に据え、事業展開を行い、企業成長を目指します。

この度、「AI」事業を推進し、持続的な成長及び安定的利益獲得のため、AIスタジオを開設し、コンテンツ制作受託事業を開始することを、正式に決定いたしました。

現在、日本のアニメはグローバルで高い評価を受け、また、国内でライトノベルのアニメーション化が盛んに行われていることから、コンテンツの制作需要は、非常に高い状態が続いております。一方、供給サイドは、未だに手書きが主流であり、制作に長い時間を有し、需要の高さに対し、供給が間に合っていない現状があります。

この需給のミスマッチ状態をビジネスチャンスと捉え、当社ではAIを駆使したコンテンツ制作を可能として、スピーディーに大量生産できる体制をいち早く構築することで、需要の取り込みを図るべく、AIスタジオを本社内に設立し、コンテンツ制作にかかる受託事業を開始することを、正式に決定いたしました。

当社はこれまで、自社IP及び製作委員会に参加する形で他社保有IPの制作に携わってまいりましたが、この度のAIスタジオ開設に伴い、他社からのコンテンツ制作受託をスタートいたします。現状、手作業で行っているコンテンツ制作を、AIを駆使することで、早く大量に生産することが可能となり、納期及びコスト面で大きな差別化がはかれます。特にアニメコンテンツは制作ニーズが高く、制作を受託することで、安定的な売上・利益の獲得を目指します。また、制作受託専門のAIコンテンツ営業部も新設する予定です。

当社のAIスタジオは、オープン時、5名体制、ショート動画で月100本の制作が可能な体制を整えスタートし、下期から発表済み予算に組み込まれていない売上・利益計上を目指します。

また、AIスタジオにおいては、他社からの制作受託だけでなく、当社の保有するIPのAIコンテンツ化をはかると共に、新たなIPとなるAIキャラクター制作も行なってまいります。顧客ニーズが多様化する中で、AIキャラクターを多数制作し、多様なニーズに応える自社IPとして、行政や企業とタイアップを目指します。2027年3月期の期末までに、新規に100体のAIキャラクターを制作することを掲げてお

ります。そして、これらAIキャラクターは単にデザインされたものではなく、AIキャラクター自身が話したり、動いたりできるよう命を吹き込んでいきます。「AI」という新たなテクノロジーのもと、当社は再成長を遂げてまいります。

## 2. 当該事業を担当する部門

当該事業は当社のAI事業本部内のAIコンテンツ開発部が担当いたします。

## 3. 当該事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

AIを駆使した新規コンテンツ制作・営業費用として182百万円を見込んでおります。本第三者割当増資の新株予約権行使の状況如何によっては、当該特別に支出する金額が減少する可能性があります。

## 4. 日程

(1) 取締役会決議日	2025年7月9日
(2) 事業開始期日	2025年8月1日予定

## 5. 今後の見通し

本件が当期の連結業績に与える影響につきましては現在精査中ではございますが、今後、開示すべき事項が発生した場合は、速やかにお知らせいたします。

以上